



いのちの力と大切さを学びます ～『春の香り』から学ぶいのちの授業～

令和6年（2024年）8月31日（土）・9月1日（日）に、中京テレビ「24時間テレビ47」の中で、「『×ばつくん、ありがとう』～あなたのために私ができること～」が放送され、坂野春香さんの18歳という若さで亡くなるまでに、大好きな絵を描き続け、一冊の絵本を完成させた生涯について紹介されました。

坂野春香さんの父親である、坂野貴宏さんを講師にお招きし、人権週間に先駆けて、「いのちの授業」を行います。

■日時

令和6年（2024年）11月26日（火） 午後1時25分～2時40分

■場所

富木島小学校（体育館）

■参加者

講師：坂野 貴宏 さん（「春の香り」著者）

4・5・6年生児童及び教職員 約340名

■内容

坂野春香さんは、絵が得意な姉の影響で絵を描くことが好きで、中学や高校では賞をとるほどでしたが、脳腫瘍の進行とともに利き手の右手が動かなくなりました。それでも、左手に筆を持ち替え描き続け、亡くなる1か月前に一冊の絵本を完成させました。そして、父親の貴宏さんと母親の和歌子さんは、18歳で亡くなった春香さんの闘病生活を『春の香り』という本にまとめました。

今回、『春の香り』を通して、いのちの力と大切さを児童に伝えます。

■その他

- ・取材にお越しになる際は、事前に富木島小学校まで電話にてご連絡ください。
- ・撮影不可や氏名掲載不可の児童がいるため、学校の指示に合わせて取材いただきますようお願いいたします。

問合せ	東海市立富木島小学校 担当：杉江（すぎえ） 052-601-5311
-----	--